

(学校運営協議会・報告様式)

令和4年度 第5回 清和小学校 学校運営協議会 実施報告書

出席者 委員9名, 事務局(教頭)

1 日 時 令和5年1月13日(金) 15:30~16:40

2 場 所 鈴鹿市立清和小学校 図書室

3 挨拶 委員長: コロナ渦が広がってきている。健康第一でいてほしい。
学校長: 3学期も行事を入れていきたいと思っていたがコロナ感染者が増加で1年生の行事(昔遊び)も難しい。大縄跳びの全校実施も難しくなってきた。6年生を送る会はぜひ実施したい。卒業式は在校生代表として、5年生を参加する方向で考えている。

4 協議事項

(1) 地域学習について

【学校より】

委員のみなさんには人材交渉から集めていただき、ありがとうございました。
今後の方向性について、今回の学習で気づかれた点を教えていただきたい。

【委員より】

- ・予定していた時間よりも話に時間がかかり、児童の質疑の時間を取れなかった。
- ・三日市と算所では知らないことをテーマに挙げていただいているので、テーマを絞って継続していけるといいのではないか。
- ・質問時間はあったが、グループの人数が少なかったので質問が出しにくかった。
- ・児童が事前に学習している(事前学習)と、受け身ではなく参加型の内容になったのではないか。
- ・田植えの体験をしている子が多かったので、田植えに関する感想が多かった。
- ・地域の歴史については大人でもわかっていないことも多い。地域学習を通して、子どもたちが学ぶことは、地域の歴史を知るよい機会になる。
- ・調べ学習をグループでまとめたり話し合ったりすることは、子どもの成長につながるもので、可能な形で継続してほしい。
- ・戦争のことについては、昨今平和へ意識が弱い傾向がある。世界の情勢でも平和への意識が大切な時期なので、継続してしてほしい。
- ・スケジュールがうまく合うといいが、準備のこともあるので、テーマは多すぎない方がいいのではないか。

(2) 学校支援ボランティアについて

【学校より】

特に環境ボランティアを募る（増やす）方法で、いいアイデアがあったら聞かせてほしい。

【委員より】

- ・環境ボランティアの本来の活動は、栽培委員会の児童と一緒に清和ガーデンや学級園の畑の手入れをするものであり、活動回数ももっと少なかった。高齢化してきているので、PTA等が中心となって手助けしてほしい。
- ・PTA役員のOBで組織する清和同好会が学校と連携して取り組んでいたが、コロナ渦教職員と接する機会が減り、行事もできないことから関係が希薄化してきている。これまでのように学校と連携して要望も伝えてもらったら協力できることはある。
- ・募集チラシを目に見える形にさせていただけるといいのではないかな。活動の様子を写真で紹介したり、ボランティアを通して「子どもたちの様子も見れますよ」等のPRをしたりしてはどうか。
- ・コロナ渦でPTAの各部の活動がほとんどできていない状況なので、環境ボランティアの日にそれぞれの部員を動員してはどうか。

3 質疑応答

- ・教員の負担がかかり辞めたり病欠休暇に入ったりする先生が多いとことを新聞記事等で聞くが、どうしていったらいいのだろう。
- ・地域で協力できることや学校運営に参加できることを考えて、学校の負担を減らしてあげるとよい。
- ・PTAへの啓発等について、家庭教育学級や講演会や研修会などができるとよい。

4 その他

- ・令和4年度学校関係者評価について
- ・コミュニティ・スクールに関する意識調査について